

受付日  
作成日

分析No.9999-00000

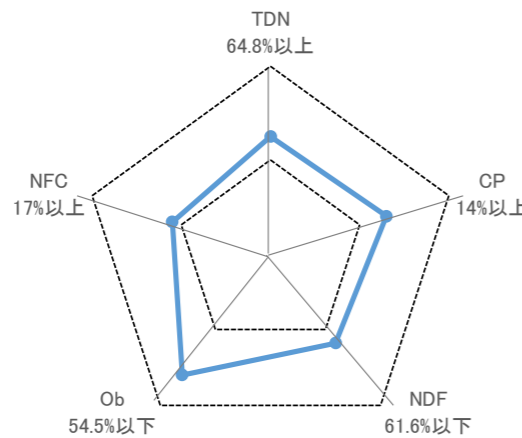
### 飼料分析結果報告書

十勝農業協同組合連合会 農産化学研究所

作物名		圃場番号	
調製区分		刈取年月日	
番草			メモ
調製方法			
自家購入区分			
添加剤			

一般成分		説明 ※乾物中成分でみます	
水分	%	飼料中の水分含量。水分80%以上になると酪酸発酵しやすい。	
乾物	%	水分を除いた飼料成分の総和(100%-水分%)	
CP(粗蛋白)	%	飼料中の粗蛋白含量。放牧草やマメ科に多い。	
蛋白質分画	SIP(溶解性蛋白)	CP%	第1胃内で早く分解される蛋白質。高水分で高くなる傾向。
	DIP(分解性蛋白)	CP%	第1胃内で分解される蛋白質。生草などに多い。
	UIP(非分解性蛋白)	CP%	第1胃内で分解されず、下部消化管で消化される蛋白質。バイパス蛋白。
	BP(結合蛋白)	CP%	ADFに付着している蛋白質。消化器官では消化されず、糞中に排出される。
NDICP(中性デタージェント不溶性蛋白)	CP%	NDFに付着している蛋白質。ゆっくりと消化・吸収される。	
NDF(中性デタージェント繊維)	%	飼料中の総繊維(≒OCW)(目安:65%以下)	
ADF(酸性デタージェント繊維)	%	セルロース+リグニン。消化性に影響(≒Ob)(目安:39%以下)	
ADL(酸性デタージェントリグニン)	%	繊維の中で最も消化されにくい部分。刈り遅れるほど多くなる。	
デンプン	%	コーンサイレージでは登熟の目安となる(黄熟期で30%以上)	
NFC(非繊維性炭水化物)	%	OCCの中の炭水化物。刈り遅れると少なくなる。	
WSC(可溶性炭水化物)	%	牧草に貯えられている水溶性炭水化物(単糖類、二糖類、ショ糖類)	
EE(粗脂肪)	%	中性脂肪など。エネルギー価が高い。刈り遅れると少なくなる。	
粗灰分	%	ミネラル、微量元素。土などの異物混入により高くなる(目安8%以下)	
ミネラル	Ca(カルシウム)	%	骨の構成、筋肉の収縮、細胞内の情報伝達などに必要。
	P(リン)	%	骨、核酸などを構成する成分のひとつ。
	Mg(マグネシウム)	%	体内での酵素の活性化、神経伝達、骨の形成などの役割。
	K(カリウム)	%	陽イオンのミネラル。DCAD値(※)を上げる成分。乾乳牛による過剰摂取は乳熱などのリスクが高まる。
当量比 K/(Ca+Mg)		ミネラルのバランスをみる。2.2以上は注意。	

〈分析値比較図〉



#### 特記事項

※実際の飼料給与の際は関係機関に相談してください。  
 ※エネルギーの算出にはNRC2001版推定式、牧草のみ改定式(平成28年度北海道普及推進事項)を採用しています。  
 ※V-スコアとは、発酵品質の分析値をもとに算出したサイレージの評価点を最高100点で表したものです。

エネルギー		説明 ※乾物中成分でみます	
TDN	%	家畜が消化利用できる養分の総量(エネルギー)。目標:61%以上	
エネルギー NE <sub>L</sub>	Mcal/kg	産乳や維持・妊娠・成長のための正味エネルギー	
NE <sub>m</sub>	Mcal/kg	生体の維持に使われるエネルギー	
NE <sub>g</sub>	Mcal/kg	成長に伴う増体に使われるエネルギー	

繊維の評価		説明 ※乾物中成分でみます	
OCC(細胞内容物)	%	細胞の中に含まれる養分でOCWを除いたもの(糖・デンプン・蛋白質・脂肪等)。消化性、栄養価が高い。早刈りは多くなる。	
OCW(総繊維)	%	飼料中の総繊維(≒NDF)。刈り遅れると多くなる(目安:66%以下)。	
Oa(高消化性繊維)	%	OCW(総繊維)の内、消化されやすい部分(目安:6%以上)	
Ob(低消化性繊維)	%	OCW(総繊維)の内、消化されにくい部分(目安:60%以下)	
NEFD <sub>30h</sub> (30時間培養NDF消化率)	NDF中%	NDFの内、30時間で消化されるNDFの割合	
NEFD <sub>48h</sub> (48時間培養NDF消化率)	NDF中%	NDFの内、48時間(2日間)で消化されるNDFの割合	
NEFD <sub>120h</sub> (120時間培養NDF消化率)	NDF中%	NDFの内、120時間(5日間)で消化されるNDFの割合	
NEFD <sub>240h</sub> (240時間培養NDF消化率)	NDF中%	NDFの内、240時間(10日間)で消化されるNDFの割合	
物理的有効NDF割合※	NDF中%	反芻刺激などに有効な繊維の割合	

※オプション分析項目

発酵品質(オプション)		説明 ※目安は現物中のみ	
pH		サイレージ品質判定の目安 目標:pH4.2以下	
アンモニア態窒素	%	酪酸発酵等により蛋白質が分解され生成される。	
アンモニア態窒素/全窒素	%	全窒素中のアンモニア態窒素の割合 目安:10%以下	
酪酸	%	酪酸菌の代謝活動で生成される酸。良質な発酵だと0.1%未満である。	
乳酸	%	乳酸菌の代謝活動で生成される酸。ギ酸を添加したサイレージでは少ない。	
酢酸	%	好気性発酵で生成される酸。高いと二次発酵の危険性。	
プロピオン酸	%	好気性発酵で生成される酸。一般に生成量は少ない。	
V-スコア	点	サイレージの品質評価法で、酢酸・プロピオン酸・酪酸の割合と総窒素に対する揮発性塩基態窒素割合から算出する。目標80点以上。	

窒素分析(オプション)		説明 ※乾物中成分でみます	
硝酸態窒素	%	堆厩肥や窒素過多などで高い値となる。植物の根元付近で多い。目安:0.2%以下	
微量元素・ビタミン(オプション)			
微量元素1 Na(ナトリウム)		陽イオンのミネラル。過剰摂取は血液のpHを高める。DCAD値(※)を上げる成分。	
Fe(鉄)	%	微量元素。ヘモグロビンの構成要素、酸素運搬、免疫応答にも関連。	
Mn(マンガン)	ppm	微量元素。発育成長、軟骨や骨の基質の産生に関与。繁殖にも関係。	
Cu(銅)	ppm	微量元素。電子伝達、骨の形成、鉄の吸収・輸送、酸素代謝産物からの細胞保護等に関連する各種酵素の構成要素。SやMoにより吸収阻害されやすい。	
Zn(亜鉛)	ppm	微量元素。タンパクや核酸の代謝の他、黄体機能にも影響を及ぼす。	
微量元素2 S(硫黄)	%	陰イオンのミネラル。血液のpHを下げる。DCAD値(※)を下げる成分。	
Cl(塩素)	%	陰イオンのミネラル。血液のpHを下げる。DCAD値(※)を下げる成分。	
Se(セレン)	ppm	微量元素。細胞の抗酸化作用に重要な酵素(GSH-Px)の構成要素	
Co(コバルト)	ppm	微量元素。ビタミンB <sub>12</sub> の構成要素。	

(※)DCAD値:陽イオン、陰イオンの差  
DCAD値が高いと乳熱などの要因となる。

#### コメント

VBN(揮発性塩基窒素)補正CP(%DM):13.6(うち、VBN由来CP:0.9)  
 VBN補正SIP(CP中%):53.5 補正係数※0.99  
 ※乾物組成の合計を100にする際は、CP補正值・NDF・灰分・EE/NFCに乘じる